

例題

次の文章を読んで、後の設問に答えよ。

著作権者への配慮から、掲載を差し控えております。
 実際の教材には掲載されておりますのでご安心ください。

(港千尋「インフラグラム」による)

(注) 超物質性：物質とイメージが二項対立するのではなく、物体としての存在様式と、イメージとしての存在様式が二重化して同時に存在するという、モノの性質。

考察

科学技術が発展し、データ化が進む現在のモノの存在様式の問題点についての筆者の考察が述べられている。

文章の展開

- | | |
|--|---|
| <p>① モノは3Dスキャンされたデータなどの多様な状態をもち、別のモノとの関係性のうちに存在している。この関係性はふだんは意識されないが、何かのきっかけで現れる。</p> <p>② 徹底的にデータ化される人間もまた、二重存在的になるが、もって生まれた身体と感覚をたよりに、人間について、自身で考え、答えを見つけながら生きてゆくしかない。</p> <p>③ 細胞のレベルで時間の巻き戻しが可能になった現在では、生きることの意味が分からなくなってしまう。</p> | <p>一 導入</p> <p>← 背景の説明</p> <p>二 本題</p> <p>← 問題の提示</p> <p>三 結論</p> <p>← 結論</p> |
|--|---|

人間の特殊性：筆者は、人間が事物を立体的に再現したがる傾向をもつと述べている。

問一——線①「二重存在的」とあるが、その説明として最も適当なものを次のア～エから一つ選び、記号で答えよ。

- ア データ化された存在様式と、生命のある物体としての存在様式の二つがあること。
- イ 別のモノを生み出せる状態と、生み出すために別のモノが必要な状態の二つがあること。
- ウ 問いを立てる状態と、問いの答えを探す状態の二つがあること。
- エ 回線に接続された生活様式とそうでない生活様式の二つがあること。

問二——線②「生命は無意味になってゆく」とあるが、それはなぜか。最も適当なものを次のア～エから一つ選び、記号で答えよ。

- ア 科学技術がどれほど発達しても、生に意味があるのかという問いに答えられないから。
- イ 徹底的にデータ化された人間は、もって生まれた身体をたよりにするしかないから。
- ウ 生命のメカニズムが明らかになり、生命がモノとして操作されるようになったから。
- エ 現代の文明は、生命と意味とを完全に切断し、自分自身で考えることを強要するから。

研究

① 自然科学：自然・自然現象を研究対象とする科学。身体や脳も自然の一部であり、研究対象となる。普通「科学」ということが多いが、社会科学・人文科学と区別するときは「自然科学」という。物理学、化学、地学、生物学、医学、数学などがある。

② 科学的とは：すべての自然科学に共通する基本的な考え方・方法・態度の特徴は、合理性、実証性であるとされる。この二つの条件を満たしているさまを「科学的」という。この点で、自然科学は、非合理的・神秘的な面をもつ宗教や、感性が大きな意味をもつ文学・芸術や、思弁的な（頭の中で考える）学問、特に哲学などと対比される。

③ 科学的方法の基本：事実の観察・分析↓仮説の構想↓実験による証明↓定説の順をたどる。

④ 現代の自然科学：自然科学は近代になって急速に発達し、現在もますます

主旨

モノは物体とイメージが二重化し超物質的ともいえるべき存在様式に変化し、人間も二重存在的となって生の意味がひととき問われることとなった。

重要語句

◇プロセス⇨物事が進行する過程。道筋。手順。

ます発展し続けている。その可能性に対する人々の期待は大きいですが、その反面、自然科学とそれを応用した科学技術が急速に発達して独り歩きをすることに不安を抱く人々も少なくない。現に軍需産業への応用や地球環境の汚染など、その問題は深刻である。科学・科学技術の功罪を問う声は後を絶たない。

⑤ 入試問題として出題される主なテーマ・論点：自然科学の基本に関するもの、自然科学の最新の成果とその可能性に関するもの、自然科学の歴史をたどったもの、自然科学を批判的に論じたものなどである。

〈例〉○科学とは何か ○科学者の社会的責任 ○核兵器・原子力問題
○自然環境破壊・公害問題 ○生態系・自然保護の問題 ○科学の可能性・科学の限界 ○医療をめぐる社会問題

次の文章を読んで、後の設問に答えよ。

著作権者への配慮から、掲載を差し控えております。
 実際の教材には掲載されておりますのでご安心ください。

25 20 15 10 5

著作権者への配慮から、掲載を差し控えております。
 実際の教材には掲載されておりますのでご安心ください。

55 50 45 40 35 30

著作権者への配慮から、掲載を差し控えております。
 実際の教材には掲載されておりますのでご安心ください。

(鈴木秀夫「森林の思考・砂漠の思考」による)

(注) ファウスト…十六世紀ドイツの伝説的人物。 対蹠的：正反対である様子。

問一 線(a)・(b)を漢字に改めよ。

(a) 「 」 (b) 「 」

問二 A・Bに入る語句の組み合わせとして最も適当なものを

次のア～エから一つ選び、記号で答えよ。
 ア 机上・足下 イ 自然・神々
 ウ 地上・天上 エ 現実・空想 「 」

問三 線①「こういう比較」の内容を五十字以内で説明せよ。

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

問四 線②「森林の人間」の特徴として最も適当なものを次のア～エ

から一つ選び、記号で答えよ。
 ア わかっていることやみえないことについても大胆な仮説を立て

65

60

て研究するべきだと考えている。

イ 視界の及ぶかぎりの事物について、それらの差違に注目しながら
 真理を追究する傾向にある。

ウ キリスト教的な絶対神を信じないため、どんなに努力をしても神
 には近づけないと思っている。

エ マクロ的な分析は苦手であるが、木の上から見下ろすような分析
 は得手である。 「 」

問五 線③「砂漠の人間」の特徴として最も適当なものを次のア～エ

から一つ選び、記号で答えよ。

ア 神に近づくため、広い視野に立って万物を判断することを重視する。

イ 砂漠では水が重要なため、生きることや科学の発展に貪欲である。

ウ 万物に対する判断が要求されるが、完全な認識は要求されない。

エ 厳しい自然環境の中で暮らす忍耐強い人間であるため、科学者向
 きである。 「 」

問六 本文で述べられている「科学」の説明として最も適当なものを次の

ア～エから一つ選び、記号で答えよ。

ア 科学は、生活空間や宗教的世界観の違いによりその手法が異なる。

イ 科学においては、とりわけ差違の認識とその整理が重要である。

ウ 科学的研究は、自我中心の思想的風土の下にある人間には難しい。

エ 科学においては、総合よりも分析がより重要になる。 「 」

問七 本文の内容に合致しないものを次のア～エから一つ選び、記号で答えよ。

ア 大発見をする科学者を日本が輩出できないのは、真理の探究とい

う名の下で誤ったことはいえないと考える傾向があるからである。

イ 砂漠的思考の学者には「天地創造」という概念があるため、一大

発見も生まれやすい。

ウ 科学は分析と総合からなりたつが、マクロ的な思考が発達してい

ない日本では、総合家はあまり評価されていない。

エ 日本人に大胆な発想ができないのは根本に仏教的思想があり、
 神を絶対視するためである。 「 」